

■きっかけは？
22歳の時、国際農業者交流協会が主催するアメリカ農法の研修事業に参加、ワシントン州の農場で厳しい指導を受けました。見渡す限りの広大なリンゴ農場には直売所があり、遠方から買い付けに来る人が多くいました。現地のリンゴは長い日照時間のもとで生育するため、甘みが鮮烈でとてもおいしいリンゴでした。アメリカの消費者は、農業に対する意識が高く、良いものを作れば偏見なく評価してくれました。

「こだわりを持って良いものを作ることができれば、世界中どこにいても関係ない。そして自分はまだ自分の仕事をしているだけに、代金をもらって感謝の言葉



中井 栄緒さん (31歳・蜂屋)

アメリカで1年8か月間の農業研修を終え、平成26年に「栗東いちじく生産組合」の指導を受けて栽培を開始するとともに、イチジクに関連するイベントを毎年開催。手製イチジク帽子をかぶった広報や似顔絵ワッペン、SNSなどによる宣伝活動を精力的に展開。また、同組合にてイチジクジャムなどの製造販売や地元パティシエと共同でスイーツの開発も手がける。現在、ビニールハウス4棟で約130本のイチジクのほか果菜類を育成中。

までもらえる。こんなに素晴らしい仕事はない」と実感し、農業の道を歩もうと決心しました。

■現在までの道のりは？

「栗東いちじく生産組合」に入らせていただき、指導を受けながら栽培を始めました。特徴は、ビニールハウスによる雨よけ栽培です。気象や虫害による影響を受けにくく、農薬も少なく済むなど、安心・安全な栽培方法と考えています。収穫は、8月頃が最盛期となり、おいしくなります。生果実以外にもジャムなどの加工品を製造し「アグリ郷栗東」などで販売しています。

また、「栗東いちじく」をアピールするため、平成26年から毎

年、イチジクに関するエピソードを交えた「りっとう無花果コンサート」を開催（今年は8月11日を予定）しています。同時開催のカフェで提供するスイーツやケーキも楽しみにしてください。

■今後の夢は？

平成30年度滋賀県果樹品評会のいちじくの部で優良賞と滋賀県知事特別賞を受賞しました。この誇るべきイチジクを、市内の学校給食へ出したいという想いがあります。栗東といえばイチジクと言ってももらえるよう頑張ります。イチジクは漢字で「無花果」と書きますが、先人が守つてこられた「栗東いちじく」を継承し、しっかり守り続けて、大きな花を咲かせたいと思います。



お手製の「いちじく帽子」をかぶって「栗東いちじく」に愛情をそそぐ中井さん

軽費老人ホーム 入居者募集中

豊富な経験と実績が
あなたの幸せな老後を
しっかりサポートします

広くてゆったり暮らせる
一人部屋空いています！
夫婦部屋も4室あります

高齢者ケアの総合施設

体験利用・ショート利用可
60歳から入居可

社会福祉法人 八起会



石部ケアハウス ☎0748-77-0025

http://www.hachikikai.com ※お気軽にお電話ください。

555 三恵工業株式会社

自動車用補修部品（特にサスペンション、ステアリング系部品）のメーカーとして国内を始め、世界120以上の国、地域のお客様に高い信頼を頂いております。



〒520-3045 滋賀県栗東市高野 305
tel.077-553-0555 fax.077-553-2408
http://www.sankei-555.co.jp/jp/

旧車ブランド：555GOLD
http://555gold.spk-cuspa.jp/
びわこ放送にてCM放映中

全日本選手権JN-677にTHREE FIVE MOTORSPORTとして、参戦しています。

広告欄

有料広告掲載のお申込み・お問合せは秘書広報課 ☎551-0641 FAX553-1280へ（掲載料金：本文最終ページ：1枠30,000円）
掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。



人口(5月1日現在) 人口69,700人 男34,725人 女34,975人 前月より140人増 世帯数28,069世帯

この広報紙は、古紙配合の再生紙とベジタブルインクを使用しています。